



志免町民図書館おすすめ本 No.17



ねんせい
1・2年生

『帰り道』

JE / カ

ありた な お さく はじり としかど え しんにほんしゅつぱんしゃ
有田 奈央 / 作 羽尻 利門 / 絵 新日本出版社

あれ? こんな道あったっけ? いつもとおっている
道で、これまできがつかなかった路地を見つけれ
ことはありませんか? そして、そこに入ってみると
…。

『なんかひとりおおくない?』

JE / ナ

うめはら まんな / 作・絵 しゅつぱん
BL出版

じいちゃんちは、大きなかやぶきやねの家。今
年の夏休みも、いとこたちがあつまって、みんな
でおとまりだ。かくれんぼやドッジボールをしてあ
そんでいると…。たのしい夏休みのあいだの、ふ
しぎなであいをえがいた絵本。



ねんせい
3・4年生

『ちょっとねがっただけ』

J 913 / ア

あかはね さく え こくどしゃ
赤羽 じゅんこ / 作 ふすい / 絵 国土社

ゾクッとする不気味な物語から、心がホカホカに
温まる物語まで、「ねがいごと」をテーマにした作品
を集めた短編集。

『うるうのもり』

J 913 / コ

こばやし けんたろう さく え こうだんしゃ
小林 賢太郎 / 作・絵 講談社

転校したての僕は、先生の言いつけをやぶり、お
ばけが出るという森の奥へ迷いこんでしまう。そこで
出会ったのは、不思議な、「あまり1」の人間。世界
からはみ出したひとりぼっちの存在、『うるう』だっ
た……。

『ついてくる』

JE / ツ

おがわ いく さく え
小川 育 / 作・絵

あそびにむちゅうになって、すっかりかえるのが
おそくなってしまった男の子。くらいみちを歩いて
いると、ひたひた、かさかさ、ぺとぺとと、何かうし
ろから、ついてくる音が…。

『魔術』

J 913 / ア

あぐたがわ りゅうのすけ さく たん ぢ ようこ え いわさきしよてん
芥川 龍之介 / 作 丹地 陽子 / 絵 岩崎書店
みやかわ たけお へん
宮川 健郎 / 編

魔術の大家ミスラをたずねた「わたし」は、そこで
見た魔術におどろき、自分にもおしえてほしいとた
のむ。だが、欲のある人間は魔術をつかえないと
言う。「わたし」はミスラに、欲をすてるとやくそくす
るが…。

『全国小学生おばけ手帖』

J 913 / イ

とぼけた幽霊編

たなべ せい あ げんあん いわた さく
田辺 青蛙 / 原案 岩田 すず / 作

ぼくのクラスには、とってもおしゃべりな子がいる。
授業中も、めちゃくちゃうるさい。なぜか、先生から
はおこられない。しかも、教室は3階なのに、あの子
は窓の外から話しかけてきて…。

『こらしめじぞう』

J 913 / ム

～ふらちなやつ引きうけます～

むらかみ さく かるべ たけひろ え
村上 しいこ / 作 軽部 武宏 / 絵

突然あらわれた、おじぞうさんとタヌキのおきもの。
人の失敗を笑うやつ、話を横どりするやつ、逆ギレ
するやつ…。おじぞうさんに手を合わせ、ムカつく相
手の名をとなえと、代わりにこらしめてくれる!?
こわくて面白い短編集。